

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

375号

2022年5月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 尹錫悦次期大統領の対北強行発言で緊張が高まる南北関係 ～懸念される韓日軍事協力水準の引き上げ～

尹錫悦次期大統領は、米国への使節団派遣に続き日本へ韓日政策協議代表団を派遣した。鄭鎮碩国会副議長を団長とする代表団は、尹次期大統領の親書を携えて岸田文雄首相、林芳正外相、岸信夫防衛相などと相次いで面談した。25分間の岸田首相との面談後の記者会見で鄭団長は「未来志向的関係構築」を盛り込んだ親書を伝達し、「両国共同の利益に努力することで意見が一致した」と語った。会談では日本軍「慰安婦」問題と日帝強制占領期の強制動員など歴史問題について原則的な意見交換があったと伝えられた。

2015年12月、日韓「慰安婦」合意(性奴隷表現不使用、平和碑少女像撤去、和解・癒し財団設立など)の見直し、2018年10月、韓国大法院の徴用工判決など

韓日の歴史認識問題の葛藤深化で政府間交流不在状態が続いていた。

尹次期大統領は選挙戦での公約の一つに韓日関係の「改善」を挙げていた。尹次期大統領は当選後、岸田首相と電話会談を行った。電話会談の内容を岸田首相は「核・ミサイル問題や拉致問題など北朝鮮(※正しくは朝鮮)への対応について、緊密に連携していくことで一致した。国際社会が大きな変化に直面する中で健全な日韓関係は不可欠であること。日米韓の連携が重要であることなどを伝え、日韓関係改善のために協力していきたい旨」を伝えた。尹次期大統領も「日韓関係を重視しており、関係改善に向けてともに協力していきたい」との発言があった。今回の代表団には李相徳シンガポール大使(2015年の日韓慰安婦合意担当北東アジア局長)、朴喆熙ソウル大教授(慰安婦合意破棄・徴用工賠償判決などを批

判)らが参加している。

尹次期大統領は選挙戦期間中、朝鮮への先制攻撃に言及している。岸田首相は2021年12月6日の施政演説で「敵基地攻撃能力確保に努力する」と述べている。つまり先制攻撃をも辞さないとしている。韓日ともに朝鮮への「先制攻撃」を公言している。日本は朝鮮半島有事の際、日米同盟の枠内で集団的自衛権を発動し、朝鮮半島に直接軍事介入することができるとしている。しかし、



▲訪日した韓日政策協議代表団

これには韓国の同意がある。報道によれば、次期政権引き継ぎ委員会に外交安保研究所日本研究センターのユン・ソクチョン教授が加わった。ユン氏は韓国外交安保研究所に「朝鮮半島有事の際、米日同盟の枠組み内での軍事的役割：歴史的経緯と制度化様相を

中心に」と題する文章を寄稿している。その中で「朝鮮半島有事の際、日本の自衛隊が直接介入する可能性に触れ、朝鮮管轄地域への侵入には韓日間に異見がある。平時から十分な論議を重ね対朝鮮政策について意思疎通と信頼構築が必要だ。バイデン政権誕生以降、韓米日国防担当者間の協力関係が活性化している」と朝鮮半島有事の際の日本自衛隊の積極的な役割を期待する内容になっている。このような研究者が次期政権の安保ラインに入ることになれば非常に憂慮される事態だといえる。

朝鮮半島の緊張状況の高まりは、岸田政権の敵基地攻撃能力確保と自衛隊を明記する「憲法改正」の必要性を国民に訴える材料に使われると思われる。韓日関係改善は米国の戦争政策に協力するものであってはならない。東アジアの恒久平和のための真の関係改善を望む。(鐵)

## 映画上映とトークショーを通じ、 在日同胞と祖国とのつながりを共有する

### 「私はチョソンサラムです」大阪上映会

昨年8月に上映会を開き、好評だったドキュメンタリー映画「私はチョソンサラムです」の2度目の大阪上映会(主催:同実行委員会)が4月24日(日)、東成区民センター大ホールで開かれた。

今回の上映会では1回目の上映後、映画に出演した李哲(イ・チョル)在日韓国良心囚同友会代表、李香代(イ・ヒャンデ)大阪朝鮮高級学校オモニ会元役員、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員を招いてトークショーが行われた。トークショーでは映画の日本語字幕を担当した金聖恵(キム・ソウヘ)さんが司会を担当し、初めて映画を見た時の感想について質問され、3名から「在日同胞の歴史がよくまとめられている映画だった」「在日同胞が差別を受けながらも、しっかり生きている様子が描かれ、元気と勇気を与えてくれる内容だった」などと語られた。



▲トークショーで発言する金隆司代表委員(写真中央)

その後、獄中で出会った長期囚の方々に対する想い、韓国で上映会を開催した時の反応などが語られるとともに、「南北が平和統一を実現し、日本との互惠平等の関係になってこそ差別はなくなる」「若い人たちには日本に住んでいても、民族心を忘れず生きてほしい」などの各自の想いが語られた。

トークショー終了後は2回目の上映を行い、上映会は終了した。

## 日本の平和憲法を守り、 アジアの平和を実現しよう！ 4・17反戦平和集会

ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、「とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和20

2 春関西のつどい(主催:同実行委員会他)」が4月17日(日)、エルシアターで開かれた。

集いでは、しないさせない戦争協力関西ネットワーク共同代表の中北龍太郎さんが主催者挨拶を行った後、講演①として「なぜ憲法を変えてはならないのか」をテーマに、早稲田大学法学学術院教授の水島朝穂さんが講演を行った。水島さんは講演の中で現在のウクライナ情勢を解説しながら「プーチン大統領は憲法を改正した後、ウクライナ侵攻を始めた」と述べ、「日本国憲法は侵略戦争はもちろん、自衛のための戦争、戦力保持も認めていない。これは戦後、世界では日本国憲法だけだ」と指摘、平和憲法を変える必要がないことを訴えた。

続いて講演②として「維新は憲法の何を変えようとしているのか」をテーマに、新聞うずみ火代表の矢野宏さんが講演を行った。矢野さんは講演を通じて「維新の会は今年の参議院選挙の公約に緊急事態条項の創設をあげている。これは危険なことだ。世界で最も民主的なワイマール憲法下で、なぜナチスの独裁が誕生したのか。ワイマール憲法には“公共の安全・秩序に重大な障害が生じる恐れがあるときに人身の自由、意見表明の自由など7か条の基本権全部、または一部を一時的に停止できる権利を大統領に与える”と明記しており、ヒトラーはこの緊急事態条項を2回使い、独裁政権となった」と指摘し、「緊急事態条項は必要ない。現在の平和憲法をしっかり守り、平和の大切さを伝えていこう」と語った。



▲デモ行進を通じ平和憲法の継続を訴える

講演終了後は、大阪平和人権センター理事長の米田彰男さんが閉会挨拶を行い、関西のつどいは終了した。終了後、参加者はデモ行進を行い、道行く人々に「平和憲法を守ろう！」「緊急事態条項はいらない」などと訴えた。

## 韓青中央委員会開催 上半期活動に向けて決意高める

2022年4月10日(日)、キャンパスプラザ京都(京都市下京区)にて韓青第27期第2回中央委員会を開催しました。中央委員会とは年度ごとに行い、昨年度の総括と今年度の方針について論議する場です。

この間、韓青として約1年半、新型コロナウイルス感染拡大のため全国行事を開催できずにいましたが、感染拡大に最大限注意しつつ、全国の仲間が結集する形で中央委員会を開催しました。中央大会(2020年11月)ぶりに顔を合わせるメンバーや、関西地協の成人祝賀会から韓青に参加した新成人と全国の仲間が初めて出会う場になりました。

司会進行は安博輝(アン・パッキ)三重県本部委員長が務め、韓成祐中央委員長が開会挨拶を行いました。続けて、宋世一(ソン・セル)韓統連委員長から激励挨拶を頂き、ご自身の青年期を振り返りつつ現情勢を展望しながら、来たる光州民衆抗争全国集会への結集を呼びかけました。

中央委員会議長は趙暎和(チョ・ヨンファ)中央本部副委員長(大阪本部委員長)が務め、2021年度総括と2022年度方針について論議しました。特に2022年度方針論議では中央委員会参加者が「上半期に韓青で何がしたいか」を考え、同じような考えの青年同士で話し合い、アイデアをより発展的に膨らませるグループワーク企画を行いました。



▲グループワークで熱心に話し合う参加者

初めて行う企画に最初は少々戸惑いも見られましたが、自然とグループが出来上がり活発な意見交換が行われるようになりました。結論として「全国夏期講習会の計画案」「オンライン発信強化の具体案」「未組織同胞青年へのアプローチを

### 韓青中央本部委員長 韓成祐(ハン・ソウ)

するうえでの考察」の3案がそれぞれ発表されました。これらの案を上半期方針の具体的なプランとして実行し、中央委員会参加者が主体者となって上半期組織活動を力強く展開することを確認しました。

続けて、大阪本部の金和容(キム・ファヨン)常任委員長が決意表明を行いました。金和容さんはこれまで自身が関わってきた韓青活動を振り返り「自分自身が思う問題意識は必ず韓青の仲間たちにも関わってくることであり、活動を通じて社会に声を上げることの大切さを知った」と語りました。また「今後も盟員を大事にし、来たる5月1日に行われる生野北支部定期大会で支部委員長への就任を決意する」ことを明らかにしました。

最後に閉会挨拶を趙暎和中央副委員長が行い「時代に合わせて組織と運動は変わっていくが、同時に青年たちの手によって磨かれていくものだ」と述べ、中央委員会に参加した盟員の主体的な活動への参与を訴えました。



▲交流会では親睦と交流を深める

終了後は近隣の飲食店で交流会を行い、各地方本部から新年度に向けた抱負が語られました。特に全国夏期講習会(7月末予定)により多くの青年を動員し、再会することを誓う前向きな挨拶が多く聞かれました。



## 【翻訳資料】 相変わらず埋められた真実...安山でセウォル号惨事8周忌記憶式

セウォル号惨事犠牲者を追慕するための8周忌記憶式が16日、京畿道安山市で遺族と政府関係者、一般市民などが参加した中で開かれた。

この日、記憶式には追悼辞、セウォル号惨事生存者のチャン・エジン氏の「約束の手紙」朗読、各種追慕公演が行われた。



▲安山市で開かれた記憶式

記憶式は犠牲者に対する黙祷に続き、金富謙(キム・フギョン)首相が追悼辞を述べるとともに、尹錫悦次期大統領と新政府に、セウォル号惨事と関連した真相究明と聖域のない捜査を通じた関連者処罰を要求する声があげられた。

4・16セウォル号惨事家族協議会の金ジョング運営委員長は「セウォル号惨事の責任がある朴槿恵政府は、聖域のない真相究明と責任者処罰を通じて安全な社会を作ろうという遺族と国民を弾圧した。キャンドル政府の文在寅政府も、傍観だという気がするほど消極的だった。尹錫悦大統領当選者と新政府は、セウォル号惨事に対して間違った行為が正せるよう真相究明と処罰を成しとげて安全な社会を作ってほしい」と促した。

続いて、セウォル号惨事生存者が手紙を朗読し

た。セウォル号惨事当時、檀園高校2年生だったチャン・エジン氏は「私は、私が大人になって社会生活をしているころには真相究明が行われていると思っていたが違った。あれから8年の時間が流れて真相究明はなされていないが、私ができることを最後までやってみようと思う」と伝えた。

また、エジン氏はセウォル号惨事以後、政府の安易な対応に対する叱責もした。エジン氏は「今まで真相究明のために努力した結果であるセウォル号船体の引き揚げ、特別法制定、特調委構成など、この中で政府が行った仕事は何なのか。すべて遺族と国民が行ったものだ。セウォル号惨事は事故ではない。救えたのに救わなかったのは事故ではない。遺族が心残りのないようセウォル号惨事の真実を糾明してほしい」と語った。



▲記憶式に参加した遺族

セウォル号惨事8周忌と関連して文在寅大統領はこの日、SNSを通じて「4月の春、再びセウォル号の子どもたちの名前を呼んでみる。現在も子どもたちの息づかいを感じておられる家族一人一人に熱い慰めの言葉を申し上げる」と伝えた。

(韓国インターネット新聞ニュースシスより)

### 光州精神を継承し、民族自主を争取しよう！ 光州民衆抗争42周年 在日韓国人全国集会

日時：5月22日(日)午後1時30分～

場所：愛知民主会館(名古屋市)

内容：映像資料上映／情勢講演—講師：宋世一委員長／韓青による文化公演 他

主催：韓統連 TEL03-4362-5284

## 【コラム】

## 遥かなる橐離国

昔、高麗(コリョ・고려)、高句麗(コグリョ・고구려)ではなく、高麗(コリ・고리)、高句麗(コグリ・고구리)と読むべきだという説を聞いたことがある。

その論拠のひとつとして、世宗代に書かれた朝鮮王朝の建国叙事詩『龍飛御天歌』の注釈が挙げられる。「麗運之衰(麗運イ衰ハゴトクン)」という一文の注釈に「麗。音は离。高麗なり」と記されている。この場合「麗」は「离(リ、리)」と発音するということだ。

また、この説はさらに日本語の高句麗(こうくり)の読みもその論拠として挙げている。それなりに説得力があるように見える。

実際、場合によって漢字の音を変えて読むのは、日本語ではよくあることだ。そして韓国語にもまれながら例がある。たとえば「茶」は通常だと차(チャ)と読む(緑茶・ノッチャなど)。しかし、다(タ)と読むことも時々ある(茶房・タバンなど)。

同じように国名として「麗」を用いる時は「리(リ)」と読むことがあっても良いような気がする。

ただこの説には反論もあって、上古代の漢字音でいえば「离」はliaとかljaとかの音になるらしい。そうなってくると「离」を現代の韓国漢字音で読むべきか否かという議論になるので、あまり深く追究するのも益ないことだ。

さて、国名の末尾に「리・리」が付く国として韓国史の中では「橐離(タクリ・탁리)国」が挙げられる。中国の史書などに見える国名で、高句麗のルーツとなったとされる扶余のさらに遡ったルーツの国であるとされている。

史料となる『論衡』は1世紀ごろの思想書で、その内の一編に「吉驗篇」がある。この篇では天命を受けた人が生まれた時に現れる奇瑞吉兆を列挙しているのだが、この内の一例に橐離国に生まれ扶余を建国した「東明」の出生伝説が紹介され

ている。

「北夷の橐離国の王の侍婢が妊娠した。王はこれを殺そうとしたが、侍婢は『鳥の卵のような大きさの気が天より降り、妊娠しました』と答えた。後に子を生んだ。豚小屋に捨て置かれたが、豚が息を吹きかけて死なせなかった。さらに馬小屋に移し、馬に殺させようとしたが、馬もまた息を吹きかけて死なせなかった。王は天子ではないかと疑い、その母に養わせ、東明と名付けた」。

後に弓の名人に育った東明は、国から追われ、南の大河を魚や亀が作った橋で渡り、扶余を建国したとある。高句麗の建国神話である朱蒙の伝説と類似する点が多い。

これは高句麗が扶余を吸収する過程で、扶余の建国神話を取り入れたのだとする説がある。しかし、天の気に感応して生まれた東明と、卵から生まれた朱蒙では神話類型からして違うという指摘もある。そもそも橐離と高句麗は同じ国で、中国史料の誤認と本末転倒という説も強い。

ところで「橐離」は史料によって「高離(コリ・고리)」「橐離(コリ・고리)」「索離(セクリ・

색리)」など違う名で記される。これらは「橐」字の誤記というのが従来の説だ。興味深いのはこれらの多くが末尾に「離(リ・리)」とつくことだ。根拠は全くないが、先の高句麗(コグリ)説とあわせて、もしかすると「リ・リ」には、かつて国もしくは土地という意味があったのだろうかと思像が働く。

現在、中央アジアには「スタン」と末尾につく国名が多い。ヨーロッパでは「ランド」や「ラント」とつく国名が散見される。同様にかつての東北アジアでは「リ」がつく国や地名も多かったのではないか。そんなロマンを感じさせてくれる。

(好)



▲中国東北部の地形。南下するにはいくつかの大河を越えなければならない。

## 【書籍紹介】

## 経営リーダーのための社会システム論 ～構造的問題と僕らの未来～

宮台真司・野田智義 著  
光文社・2750円

はじめにプロローグから引用する重要な問いかけ。日本では社会の底が抜けている。経済が回っていても社会が回らない。なにがこれを引き起こしているのか。社会に変化を生み出している原動力となるものは一体何だろうか。

未来にも目を向けよう。AI、VR、ARといったデジタル技術は、わたしたちの未来をバラ色にするのか。それとも未来は悲観に満ちているのか。そもそもこうした変化は日本だけで起こっているのか。

本書は政治学、哲学、心理学、生物学などの知見がちりばめられている。まず本書で言われるのは、「社会の底が抜けた状態」というのは「凡システム化＝システム世界の全域化」といった現象によって生じる。

ファミレス、コンビニ、スマホ、医療・介護制度などシステムは便利なものだが、依存が強くなると人がシステムの一部、「システムの奴隷化」が進むと警鐘を鳴らす。

チャールズ・チャップリンが代表作「モダン・タイムス」の中で工業化が進んだ文明社会では、人間は機械の一部になってしまうといったことが巨大プラットフォームGAFAM（IT企業の雄である5社(Google、Amazon、Facebook、Apple、

Microsoft)の頭文字を取った呼び名)の台頭で、ますます現実味を帯びている。

本書の問題提起、凡システム化とヒューマニズムの持続可能性の危機といかに対峙すべきか。

「生活空間」と「システム世界」の対比から議論を始めたい。



凡システム化は、社会と人々の関係性を大きく変化させる。なぜか。「過剰流動性」と「入れ替え可能性」がキーワードとなる。

生活空間が色濃く残る社会では大切な一人だった私たちが歯車になってしまっている。そうした不安から逃げられなくなる。

社会が直面する課題の本質を理解するために「構造」という概念を紹介する。そして、その象徴として「構造的貧困」を取り上げる。第二章「システム世界の全域化」の力学を説明する。次第に「人間関係の損得化」をもたらす。システム世界の全域化は感情の劣化を通じて社会の統治の前提となっていた「個人の主体性」を頹落させ「統治コスト」を増大させる。

新しい時代が始まろうとしている。私は社会学と経済学で乗り越えるつもりだ。ぜひこの本に読んでほしい！！(法師)

新しい時代が始まろうとしている。私は社会学と経済学で乗り越えるつもりだ。ぜひこの本に読んでほしい！！(法師)

## ◆◆行事案内◆◆

民族はひとつ、祖国はひとつ、同胞はひとつ

### 第27回統一マダン生野

日時：6月5日(日) 正午～/場所：生野区・巽公園(ロート公園)

内容：パフォーマー ちゃんへんによるジャグリング

ハンテプンによる民族楽器演奏/文芸同大阪支部舞踊部の朝鮮舞踊 他出演多数

ビール・冷麺・キムパッ・焼鳥・韓国民芸品など出店も多数

主催：第27回統一マダン生野実行委員会 TEL06-6722-6377